

活発化する中国貿易と輸入価格の動向

- ・わが国の国別輸出入額比率をみると、90年代に入り中国（香港を含む）の占めるシェアが上昇している。中国を除くアジアや米国の占めるシェアと比較すると、特に輸入においてその比率が顕著に上昇している。
- ・中国からの輸入物価の動きをみると、2000年後半から2002年前半にかけて前年比プラスで推移しており、その要因としては、輸入品全体でみると為替の影響が大きい。しかし輸入が急増している機械機器では、高機能化などによって価格が押し上げられた部分が多い。そうした製品の輸入増が国内の価格競争を激化させ、国内物価の下落に影響を与えている可能性があると考えられる。

図1 国別輸出額比率

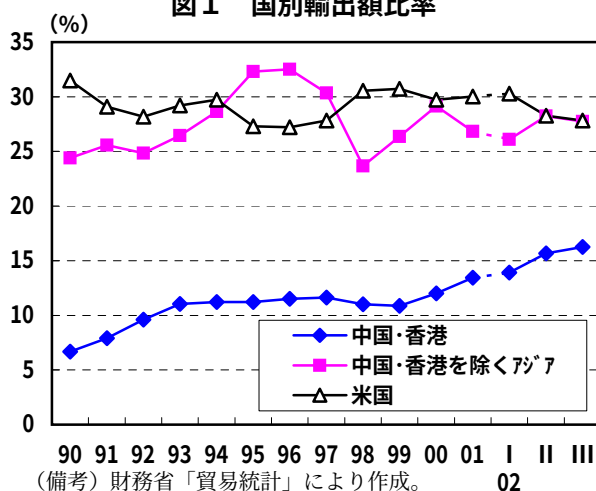


図2 国別輸入額比率

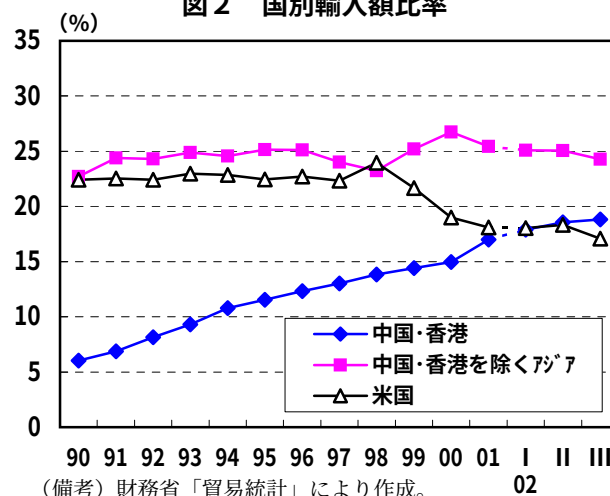


図3 中国輸入価格前年比の要因分解(総平均)

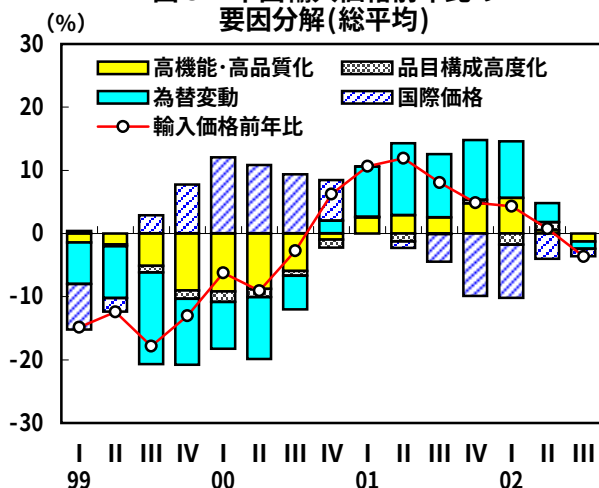
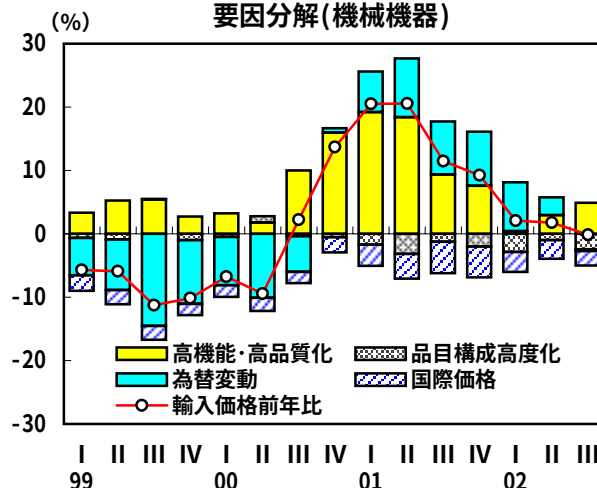


図4 中国輸入価格前年比の要因分解(機械機器)



- (備考) 1. 財務省「貿易統計」(下記Mf、M1、Mp)、日本銀行「卸売物価統計」(下記By、Bf)により作成。
 2. 輸入価格前年比はフィッシャー式価格(Mf)ベース。「品目構成高度化」はパーシェ式(比較時数量一定)価格(Mp)とラスパイレス式(基準時数量一定)価格(M1)の比で、品目構成の変化を表す。「為替変動」は日銀輸入物価指数の円ベース価格(By)と契約通貨ベース価格(Bf)との比、「国際価格」はBfの伸びより算出。「高機能・高品質化」は同一品目の品質等の変化を表すM1/Byであり、以下の式から残差として求めた。
- $$Mf = \sqrt{(M1 \times Mp)} = M1/By \times \sqrt{(Mp/M1) \times (By/Bf) \times Bf} = (\text{高機能・高品質化}) \times (\text{品目構成高度化}) \times (\text{為替変動}) \times (\text{国際価格})$$

【調査部(経済調査担当) 品田 直樹】

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部
 Tel: 03-3244-1840
 E-mail: report@dbj.go.jp